

神社名：巖島神社 　　いつくしまじんじゃ

住　所：練馬区石神井台 1 - 2 6

調査月日：2020年1月4日

調査参加者：栗田、菅野、木村、梅田、宮崎、小幡、浅見、竹内、小林、木村（怜）

写　真：



由来など： 創立年代等不詳。「新編武蔵風土記稿」上石神井村の項に「弁天社 三宝寺池ノ中島ニアリ。神楽堂」「水天宮 池ノ側ニアリ。」とある。弁天社は神仏分離後に巖島神社となる。水天宮は水神社である（当社から東へ 50m ほどの池畔にある小祠）。巖島神社は昭和 56 年から境内の護岸工事、57 年には社殿の改築工事を始めて 58 年に鉄筋コンクリート造として竣工した。

南の丘の下に洞穴の祠があって穴弁天という。「北豊島郡誌」石神井村の項に「無格社巖島神社。大字上石神井字大門に在り、即ち三宝寺池畔の弁財天なり、石神井案内に曰く、池畔の洞窟、奥深き所には池霊の弁財天像を安置し里人相伝へて尊敬している。冒険の士は一把の松明を携へて暗黒裡陰風凄愴なる辺りに、池霊と相語るも亦快きことではないか」と記されている。雨乞いに際し、本殿に祀り祈願すると必ず雨が降ったという。（中略）

相殿の祭神は明治 41 年、大正 4 年に近隣の稻荷神社、愛宕神社、御嶽神社を合祀したものである。  
（「練馬の神社」より）

祭神など： 狭依姫命、香具槌命、倉稻魂命、国常立命

空間位置・面積等・植生など：かつては池の中の島にあったということで境内は狭く、アカマツの立木があるのみで地表はササに覆われている。宇賀神社穴弁天と向かい合っている。

地図上の位置：



平面図：調査を省略した。